

# パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<アドバンス>

## パーソンセンタード・リスニング

「人間尊重の心理学」を体験的にさらに学ぶ

担当者	青木 剛（南山大学人文学部心理人間学科講師） 大島 利伸（南山大学附属小学校教諭） 永野 浩二（追手門学院大学教授）
概要	このワークショップは、パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<ベーシック>で学ばれた基礎概念が理解されていることを前提として、その基礎概念をいかしたパーソンセンタード・リスニングを体験的に学ぶことを目的としています。2日間、自分と相手を味わうことを基盤とし、味わう中で生まれる実感を活用した、パーソンセンタード・リスニングのそれぞれなりの手がかりをつかんでいただければと思っています。この<アドバンス>では、<ベーシック>での体験をふまえて、さらに傾聴についての理解を深めます。心理臨床家やカウンセラーをはじめ、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係を持ちたい方などにお勧めするワークショップと考えています。
日程	2023年2月18日(土)10:00~17:00 2月19日(日)9:30~17:00
定員	24名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	18,560円〈税込〉
メルマガ講座報告	担当講師 青木 剛 記  2023年2月18日(土)10:00-17:00、19日(日)9:30-17:00の日程で、第1回「パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<アドバンス>パーソンセンタード・リスニング」を対面で実施し、13名の方に参加していただきました。講座に先立って行った講師同士の打ち合わせでもパーソンセンタード・アプローチ（PCA）のアドバンスとは何かということ議論し、ある程度のワークの準備もしつつ参加者との対話の中からニーズを聞かせてもらい組み立てていき、それぞれの参加者にとっての手前の一步となるような学習の歩みのきっかけとなることを目指しました。 PCAは人間尊重のかかわりを目指しますが、その人間には自分以外の他者だけではなく、もちろん自分自身も含まれていますので、このワークショップを通して自分自身も理解をして大切にしながら進めていけたらという願いを込めておりました。参加者のみなさんはそれぞれ意欲的にワークに取り組み、その中では自分にとってできている人間尊重のかかわりに気づかれる場合もあれば、自分の苦手な部分に気づかれたりすることもありました。みなさんはその時々素直で真摯にワークや自分自身、相手に関わっている様子が伺え、その取り組みの姿勢がより、安心安全に自分と相手にかかわる安心・安全の風土を作っていることを講師一同実感いたしました。このような風土こそ、PCAが大切にしている風土であり、そうした風土を参加者のみなさんが実現されていたことは、参加者の皆さんが日常生活の中でも一筋縄ではいかないかもしれませんが、そうした風土を作り上げていくことができることと思えるものでした。とはいえ、そのような風土は、どうすれば作れるかは定式化が難しく、自分も相手も大切にしようとする中で、さまざまなありようがあるのだろうと考えられます。そういう意味でも、今回参加された方も、今後参加される方も、その時々で異なる出会いを通して異なる学びがあるかと思っておりますので、そうしたことにご関心のある方はまたぜひご参加いただけたらと思います。